

単元名 【旧】思いを形に 生活に役立つ布製品

配当時間 15 時間

- 単元の目標 (1) 布を用いた製作に必要な材料、用具や製作手順、時間の見通しなど基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることができる。
- (2) 布を用いた製作について、課題を見付け、その課題の解決を目指して、目的に合った製作計画を考え、製作を工夫することができる。
- (3) 製作を通して習得した知識及び技能を生かし、便利で豊かな生活をよりよくしようとする。

標準的な展開例

06090203_001

【準備等】布製品の実物見本、段階標本、ミシン、裁縫用具

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 生活の中で役立っている布製品について話し合い、単元の学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭でよく使われている布製品を観察し、製作するために必要な条件を考える。 ○自分が作りたい物を考える。 <p>○単元の学習課題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>★生活に役立つ物を作ろう</p> <p>2～3 作りたい物を決め、製作計画を立てる。</p> <p>★生活に役立つ物を作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作りたい物を決める。 ・使う目的に合う形や大きさ、材料について考える。 ○製作計画を立てる。 ・製作手順 ・材料の準備 <p>4～5 出来上がりの形や大きさを考えて型紙を作る。</p> <p>★形や大きさを考えて作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○作りたい物の用途を考えながら、出来上がりの大きさを決める。 ○縫いしろとゆとりを考えて型紙を作る。 <p>6～13 計画に従って製作する。</p> <p>★自分の思いを形にしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○しるしを付けて布を裁つ。 <p>○わきを縫う。</p> <p>○出し入れ口を縫う。</p> <p>○持ち手を付けて、仕上げをする。</p> <p>14 製作した布製品を活用する計画を立てる。</p> <p>★作った物を使って確かめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○製作活動の振り返りをし、生活の中で活用する場面を考える。 <p>15 発表交流会をし、学習のまとめをする。</p> <p>★製作の工夫や使った感想を話し合おう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○製作の工夫や活用した様子を発表し合う。 ・よかった点 ・改善点 ○発表を聞き、生活に生かせそうなことを話し合う。(言語活動) <p>○単元を振り返り、自己評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本案は、トートバッグ作りに取り組む製作例を示す。 ・家庭で使われている布製品を持ち寄り、使う目的とそのため工夫に気付くようにする。 ・自分が使う物を作っても、他の人のために作ってもよいが、使う目的をはっきりとさせるようにする。 ・単元の学習について見通しをもって取り組むようにする。 ・児童の興味・関心や、技能面での実態に応じて計画を立てるようにする。 ・着なくなった服のリフォームを、考えてもよい。 ・作品に合う布や、環境に配慮して材料の選び方についても考えるようにする。 <p>【評】製作計画を立てる活動を通して、「思考・判断・表現」「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・p. 85を参考にして、大きさを考えるようにする。 ・包装紙などに包んで、型紙を作ることもできる。 ・製作するために必要な材料や準備について確認する。 ・実物見本や段階見本を用意し、主体的に学習できるようにする。 ・布目の方向・効率的な置き方について知らせ点検してから裁つようにする。 ・中表に二つ折りにすることと、まち針の打ち方の確認をする。 ・三つ折りについて確認する。 ・安全にアイロンを使うようにする。 <p>【評】製作活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に役立てる計画を考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・作品の工夫点や改善点、活用の様子などについての交流会をする。 ・他の人のために製作した場合は、相手の感想を聞いておくようにする。 ・友達同士で相互評価して、よいところを認め合うことができるようにする。 <p>【評】発表交流会を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

児童は、5年生の学習で、手縫いやミシン縫いの技能を身に付けている。本単元は、これまでに身に付けた技能を生かし、生活に役立つ布製品を考え、工夫して製作する活動である。一人一人の思いや願いに沿って製作計画を立て、個性豊かな製作ができるようにする。また、製作活動を通して学んだことを生活に活用することで、家庭生活をよりよくしていこうとする実践的な態度を育てていく。言語活動としては、製作の工夫や作品を活用した様子を話し合う活動を行い、今後も学習したことを家庭生活に生かそうとする意欲につなげる。

本単元の学習は、第5学年の家庭「ひと針に心をこめて」の内容が関連しているため、それを踏まえた指導が必要である。